



## 2/21 (火) 河内中地域協議会を実施しました!

去る2月21日(火)、本校会議室にて、今年度第3回目の河内中学校魅力ある学校づくり地域協議会が開催されました。今回の会議の主な目的は、今年度の本校の取組の成果と課題を保護者の皆様、生徒、地域の方々、教職員を対象として昨年11月に実施したアンケート結果を基に説明し、今後の学校改善のための御意見をいただくことでした。

以下に、会議で話し合われたアンケート結果から得られた主な成果と課題やいただいた御意見等を紹介いたします。

### 今年度の成果と課題、いただいた御意見等

- 全体的に評価が高く素晴らしい。授業参観等で生徒の様子を見てみると、あいさつや言葉づかい、学習態度等がしっかりしている生徒がほとんどで、気持ちよく学校に足を運べる。このような生徒の様子を見てみると、高い評価に十分納得できる。地域の評判も高い学校なので、今後もよりよい指導をお願いしたい。
- 生活のきまりやマナーを守って生活しているという評価が高いのは、秩序ある落ち着いた教育活動が日々展開されていることの表れであろう。
- やはり学校は「学習」が中心なので、学校の学習指導に対する保護者の関心は高い。学校としては「分かりやすい授業や一人一人へのきめ細かな指導」に更に力を入れてほしい。
- 食べ物の好き嫌いをなくしたり、運動習慣の形成を図ったりする取組を一層充実させる必要がある。そのためには、家庭と学校が連携して指導していくことが大切である。もちろん、河内地域学校園の小中一貫教育として、小学校低学年からの継続した指導が必要である。
- 「いじめ防止対策」に関して、保護者が非常に敏感になっていることが分かる。学校としては「学校いじめ防止基本方針」等に基づいて、年2回の「嫌な思いアンケート」と年3回の教育相談時に行うアンケート、合わせて5回のアンケートでいじめ発見につとめたり、生徒会中心に「いじめゼロ集会」を開いたりして「いじめゼロ」の学校を目指しているが、これらのことを「学校だより」や保護者会等で周知してもらうような努力を続け、少しでも保護者の皆様に安心してもらうことが大切である。このことは、小学校でも同様なことが言える。
- 学校で配付されたプリント類をカバンの中に入れたまま、親に渡さない子どもさんが増えているようである。メール配信はもちろん大切で、便利ではあるが、学校で配られたものはその日のうちに親に渡すよう、家庭としても学校と連携して小さい頃から指導していきたい。



熱心な意見交換が行われました。学校としてたいへん参考になりました。

